

ハマダモノアラガイ

学名 *Radix hamadai* Habe

目名

目名学名

科名 モノアラガイ科

科名学名 *Lymnaeidae*

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I (CR+EN) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	(竹田市)
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	山間の小さな溪流で、藻のついた岩や用水路の壁面・アカバナの根元。
現 状	1977年以降生息の確認ができていない。
備 考	模式標本産地[竹田市神原]

クルマヒラマキガイ

学名 *Hippeutis (Segnitilia) cantori* (Benson)

目名

目名学名

科名 ヒラマキガイ科

科名学名 Planorbidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：希少種



【選定理由】

西日本に分布域をもつが生息地は少なく、本県でも生息地は局限される。圃場整備や水田の干出による乾燥化などで、個体数が減少傾向にある。

県内分布	大分市、野津町、武蔵町、安岐町
分布域	本州(大阪・兵庫・山口), 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎), 沖縄 中国, ウツリヨウ島
世界的分布	
生息環境	イネの切り株や水路の周辺, 休耕田。
現 状	水田や周辺の水路の乾燥化などで, 生息環境が悪化して個体数が減少している。
備 考	殻高 2mm、殻径 6.6mm、平たいレンズ型

ナガオカモノアラガイ

学名 *Oxyloma hirasei* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 オカモノアラガイ科

科名学名 Succineidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

近年川の増水(洪水)で生息域が破壊されたり生息数の確認も困難である

県内分布	大分市、日田市
分布域	九州以北、中国、四国、関東
世界的分布	
生息環境	水田の水路などの水際で生息
現 状	大分川・大野川のコンクリートブロックの水際で生息を確認
備 考	殻高 14mm で細高く、薄く半透明で殻口部が殻高の 78% を占める

ノミガイ

学名 *Tornatellides boeningi* (Schmacker & Boettger)

目名

目名学名

科名 ハワイマイマイ科

科名学名 Achatinellidae

カテゴリー 大分県: II (VU)

環境省: II (VU)

水産庁:



[選定理由]

イノシシによる生息環境の悪化が認められる

県内分布	米水津村（沖黒島）
分布域	伊豆半島以南、伊豆諸島、九州南西岸、奄美、沖縄
世界的分布	
生息環境	潮風の当たる山林の落葉下で生息
現 状	沖黒島のツルソバ・ツワブキなどの下で生息
備 考	殻高 3.2mm 殻径 1.8mm 螺塔の高い円錐形で殻は褐色で光沢がある

チョウセンスナガイ

学名 *Gastrocopta (Sinalbinula) coreana* Pilsbry

目名

目名学名

科名 スナガイ科

科名学名 Chondrinidae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし 水産庁：



[選定理由]

全国的に分布地は少なく、九州では本匠村の石灰岩地域にのみ生息する。樹木の伐採や造林による環境の変化で絶滅の危機に瀕している。

県内分布	本匠村
分布域	本州(埼玉・群馬・広島), 九州(大分) 韓国南部
世界的分布	
生息環境	石灰岩地の凹地や礫の間, 落ち葉の下。
現 状	一生息地では植林された樹木の生長に伴い, 環境が変化したために生息の確認が出来なくなっている。
備 考	スナガイに似るが内陸部に生息

スナガイ

学名 *Gastrocopta (Sinalbinula) armigerella armigerella* (Reinhardt)

目名

目名学名

科名 スナガイ科

科名学名 Chondrinidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

気候変動のせいか生息数が激減している

県内分布	本匠村、上浦町、米水津村、蒲江町(屋形島)
分布域	本州、四国、九州、奄美、沖縄
世界的分布	
生息環境	海浜植物の落葉下で生息
現 状	蒲江丸市尾でハマユウの落葉下で多数の生息個体が確認できた
備 考	殻高 2.3mm 殻径 1.1mm 細長い卵形状で殻は白色、殻口に多くの歯状突起がある

クチマガリスナガイ

学名 *Bensonella plicidens* (Benson)

目名

目名学名

科名 スナガイ科

科名学名 Chondrinidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

森林の伐採や乾燥化、道路の新設などにより生息環境の悪化が認められる

県内分布	野津町、三重町、臼杵市、津久見市、佐伯市、本匠村、宇目町、上浦町
分布域	群馬県、近畿、東海地方、山口、四国、九州
世界的分布	
生息環境	石灰岩地帯のコケ類の間や礫の下で生息
現 状	県南の石灰岩地帯で群棲していたが最近は個体数が少ない
備 考	殻高 2.3mm 殻径 1.6mm 螺塔は円錐形で、殻口はラッパ状に広がり内側に多くの歯状突起がある

ホソキセルガイモドキ

学名 *Mirus rugulosus* (Moellendorff)

目名

目名学名

科名 キセルガイモドキ科

科名学名 Enidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：準 (NT)

水産庁：



【選定理由】

九州に広く分布域をもつが、本県では生息地が少ない。樹木の伐採により環境の悪化が懸念される。

県内分布	中津江村, 弥生町、宇目町
分布域	四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	自然林内にある老木の樹幹。
現状	古い樹木の樹幹に着生していたが個体数が減少して、最近では生息の確認が出来なくなっている。
備考	殻高20mm、殻径5.8mm、県北・県南に分布

ピントノミギセルガイ

学名 *Hemizaptyx pinto* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD)

環境省：掲載なし

水産庁：



[選定理由]

県内分布	(臼杵市)
分布域	四国(徳島), 九州(大分), 沖縄
世界的分布	
生息環境	神社の裏にある石垣の間や落ち葉の下。
現状	山麓の崩落防止工事のために生息地が失われ, 1995年以降生息の確認ができていない。
備考	

トサギセルガイ

学名 *Placeophaedusa tosana tosana* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：掲載なし

水産庁：



[選定理由]

四国に広く分布域をもつが、本県には生息地が少ない。自然林の減少により生息地、個体数ともに減少傾向にある。

県内分布	安岐町, 竹田市, 宇目町
分布域	本州(中部), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	山地の自然林内で落ち葉の下や朽ち木。
現 状	樹木の伐採や造林のために、一部の生息地が失われている。
備 考	殻高0.7mmの小型種

アラナミギセルガイ

学名 *Tyrannophaedusa (Tyrannophaedusa) oxycyma* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I A (CR)

環境省：掲載なし

水産庁：



[選定理由]

九州南部が分布域で、本県では生息地が局限される。自然林の中に生息するが、登山者などの踏圧により絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	庄内町
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	林内に堆積する落ち葉の下や朽ち木。
現 状	観光客や登山者の林内への立入りで、生息環境が徐々に悪化している。
備 考	本種は北限分布。

ピルスブリギセルガイ

学名 *Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) pilsbryana* (Ancey)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



【選定理由】

九州北部が分布域で、本県でも主に北部に分布する。自然林の減少で、生息地が徐々に少なくなっている。

県内分布	山国町, 耶馬溪町, 本耶馬溪町, 日田市, 中津江村, 上津江村, 九重町, 庄内町, 大分市, 宇目町, 湯布院町
分布域	本州(山口), 九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	丘陵地や低山地の森林内で倒木や朽ち木。
現 状	樹木の伐採による自然林の減少により, 良好な生息地が少なくなっている。
備 考	殻高14.9mm、殻径3.4mm、で小型種、淡黄褐色をしている

カワモトギセルガイ

学名 *Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) kawamotoi* Kuroda & Taki

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



【選定理由】

本州の西部と九州の中部に分布域をもつ。本県では南部に分布する。
樹木の伐採による環境の変化で個体数は減少傾向にある。

県内分布	三重町, 野津町, 津久見市, 本匠村, 佐伯市, 宇目町, 緒方町
分布域	本州(山口), 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	石灰岩地や山地の林内で落ち葉の下や倒木の下。
現 状	生息地の石灰岩地が荒廃したために、その地区では生息の確認ができなくなっている。
備 考	殻高23.5mm、殻径5.2mm、の中型種

ミヤザキギセルガイ

学名 *Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) miyazakii* Minato & Tada

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



【選定理由】

大分県と宮崎県に分布域をもつ。本県では南部に分布するが、生息地は局限される。開発により生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	上浦町
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	石灰岩地のがれ場で礫の間や落ち葉の下。
現 状	生息地の近くでシイタケが栽培され始め、生息地の一部にも人為が及んでいる。
備 考	殻高 19mm、殻径 4.5mm、の中型種

スギモトギセルガイ

学名	Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) sugimotonis sugimotonis Minato & Tada		
目名			
目名学名			
科名	キセルガイ科		
科名学名	Clausiliidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：準(NT)	水産庁：



[選定理由]

大分県と愛媛県の豊後水道域を主分布域とする。この地域は自然環境が良く保存されているが、生息個体数は減少傾向にある。

県内分布	津久見市, 上浦町, 本匠村, 佐伯市, 鶴見町, 米水津村, 蒲江町, 宇目町
分布域	四国(愛媛南部), 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	海浜の低木林内のがれ場や丘陵地にあるスギ林の落ち葉の下。
現状	かつては群生していた生息地でも個体数が減少して、最近では生息の確認が困難になっている。
備考	殻高 15mm、殻径 3.3mm、でやや小型種、淡黄白色

ウブギセルガイ

学名 *Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) sugimotonis puellaris* Minato & Tada

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県: I B (EN) 環境省: II (VU) 水産庁:



[選定理由]

一島嶼のみに生息する固有種である。生息地が集落に近接しているために人為が加わりやすく、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	蒲江町
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	林内や山麓のがれ場の礫の間や落ち葉の下。
現 状	生息地の周辺で整地や開墾が行われ、環境が悪化している。
備 考	模式標本産地[蒲江町屋形島]

ホウヨギセル

学名 *Mesophaedusa hooyoensis* (Minato & Tada)

目名

目名学名

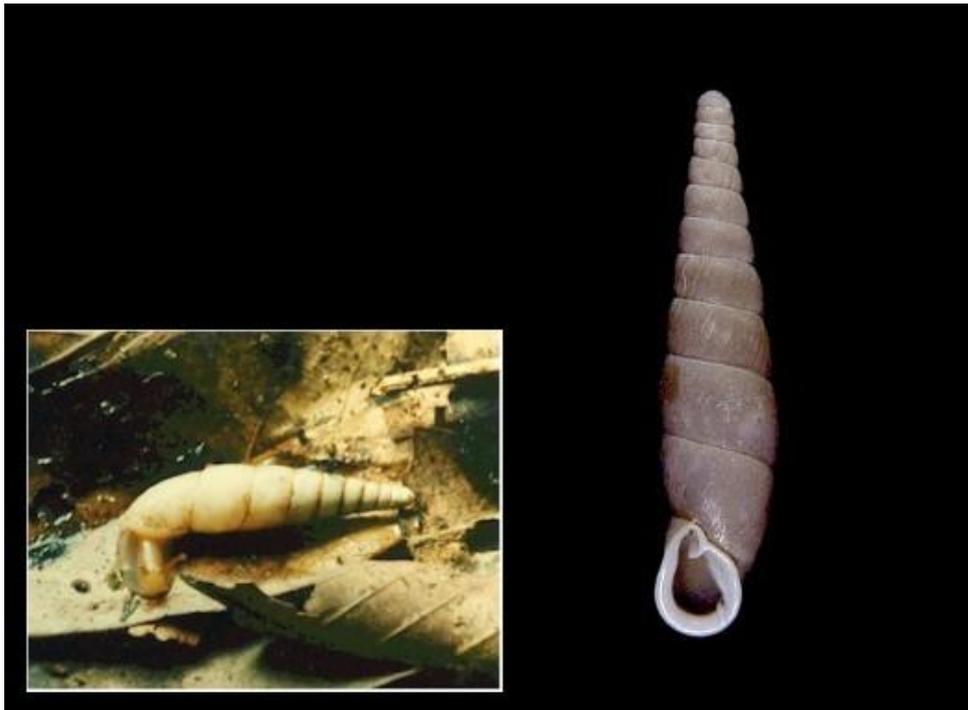
科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



【選定理由】

気候変動のせいか生息数が激減している

県内分布	野津町、三重町、臼杵市、津久見市、弥生町、本匠村
分布域	愛媛県、高知県、大分県
世界的分布	
生息環境	石灰岩地帯の岩礫の周辺で生息
現 状	野津町の石灰岩のある自然林内では環境がよく生息個体が確認できた
備 考	殻高 26.8mm 殻径 6mm でやや大型、棍棒上で淡黄褐色、殻口は洋梨形

ナンピギセルガイ

学名 *Pauciphaedusa toshiyukii* Minato & Habe

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I B (EN)

環境省： I (CR+EN)

水産庁：



[選定理由]

九州山地に分布域をもち、本県では祖母・傾山地に生息する。自然林の一部荒廃や倒木の減少などにより、消滅した生息地が多くなっている。

県内分布	竹田市, 宇目町
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	山地の自然林内で倒木や朽ち木。
現 状	依存している朽ち木などの減少で、個体数が少なくなっている。
備 考	殻高 8.3mm、殻径 2.2mm、の小型種

オオイタシロギセルガイ

学名 *Neophaedusa masatokandai masatokandai* Minato

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I (CR+EN) 水産庁：



[選定理由]

本県南部の石灰岩地域と宮崎県北部に分布する。林道の開設や造林などにより、生息環境が悪化して絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	三重町, 宇目町
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	石灰岩の礫の間や落ち葉の下。
現 状	樹木の伐採や林道の開設などで、生息地の一部が荒廃したり失われたりしている。
備 考	石灰岩地域の固有種。模式標本産地[三重町白谷]

ヒメシロギセルガイ

学名 *Neophaedusa masatokandai shiroi* Minato

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I A (CR)

環境省： I (CR+EN)

水産庁：



[選定理由]

大分県南部の石灰岩地域に分布域をもつ。模式産地では道路の開設により生息環境が著しく悪化し、危機的水準にまで減少している。

県内分布	野津町, 本匠村
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	石灰岩の礫の間や落ち葉の下, 草むら。
現 状	開発などによりいずれの生息地でも, 生息の確認が困難な状況になっている。
備 考	大分県南部石灰岩地域の固有種。模式標本産地[本匠村前高神社]

オキモドキセルガイ

学名 *Mesophaedusa okimodoki* Minato & Tada

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

九州に分布域をもつ。本県では主に南部に分布する。丘陵地や低山地に生息するが、開発などにより個体数は減少傾向にある。

県内分布	中津江村, 別府市, 大分市, 三重町, 本匠村, 蒲江町, 竹田市
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	自然林内や溪流沿いのがれ場などで落ち葉の下や倒木。
現 状	林道の開設や樹木の伐採によって, 生息地の一部で環境が悪化している。
備 考	殻高 30mm、殻径 7.3mm、の大型種

カタギセルガイ

学名 *Mesophaedusa interlamellaris* (Martens)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし

水産庁：



[選定理由]

九州南部が主な分布域で、本県でも南部に分布するが生息地は局限される。開発のため個体数が減少傾向にある。

県内分布	庄内町, 宇目町, 緒方町
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	山地の林内で落ち葉の下や倒木。
現 状	樹木の伐採や林道の開設により生息地・個体数ともに減少している。
備 考	本県は分布の北限域。

タケノコギセルガイ

学名 *Mesophaedusa elongata* Minato & Tada

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I A (CR)

環境省： I (CR+EN)

水産庁：



【選定理由】

本県の南部石灰岩地域と宮崎県北部を分布域とするが、生息地は局限される。樹木の伐採や林道の開設などで、個体数は危機的水準にまで減少している。

県内分布	宇目町
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	落ち葉が堆積した石灰岩の礫地や、洞穴入口付近の草むらなど。
現 状	開発により生息地の一部が消滅した。また他の生息地では植林による攪乱で、個体数が著しく減少している。
備 考	石灰岩地域の固有種。

キュウシュウナミコギセルガイ

学名 *Euphaedusa subaculus* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：掲載なし

水産庁：



【選定理由】

九州に広く分布域をもつが、本県には生息地が少ない。平地の畑地周辺などに生息するため人為を受けやすく、個体数の減少が懸念される。

県内分布	宇佐市, 臼杵市, 弥生町
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	平野部の畑作地周辺や、丘陵地の林内の落ち葉の下。
現 状	丘陵地の自然林の減少や畑作地周辺の開発で、生息地が少なくなっている。
備 考	殻高 14mm、殻径 3.5mm、の小型種

カスガコギセルガイ

学名 *Pictophaedusa hungerfordiana* (Moellendorff)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: I (CR+EN) 水産庁:



【選定理由】

国内に生息地は極めて少なく、九州では本県の一地点のみが知られる。周辺の開発の影響をうけて環境が悪化し、生息個体数は危機的水準にまで減少している。

県内分布	三重町
分布域	本州(近畿・中国地方), 四国(徳島), 九州(大分)
世界的分布	
生息環境	林内に生育する二本の苔むした老木。
現 状	生息地周辺で樹木が伐採されたために乾燥しやすくなった。また近くが落ち葉の焼却場所になり、生息環境が更に悪化している。
備 考	本県は分布の南限域。

ハナコギセルガイ

学名 *Pictophaedusa euholostoma* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県： I B (EN)

環境省： I (CR+EN)

水産庁：



【選定理由】

伊豆半島以西に分布域をもつが生息地はごく少なく、本県では南部に分布する。樹木の伐採のために、環境が著しく悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	弥生町, 本匠村, 宇目町
分布域	本州(伊豆半島), 四国(高知西部), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	神社境内の苔むした老木。
現 状	生息地の神社では整地や樹木の伐採などのために、神社林が攪乱されて環境が極めて悪化している。
備 考	ソハヤキ要素型分布。

ヒロクチコギセルガイ

学名 *Reinia variegata* (A,Adams)

目名

目名学名

科名 キセルガイ科

科名学名 Clausiliidae

カテゴリー 大分県：II (VU)

環境省：I (CR+EN)

水産庁：



【選定理由】

西南日本の沿海地に分布域をもち、本県では豊後水道沿岸に分布する。海岸部の開発により環境の悪化が懸念される。

県内分布	宇佐市, 姫島村, 臼杵市, 津久見市, 鶴見町, 蒲江町
分布域	本州(関東以西の太平洋側・山口), 四国, 九州(福岡・長崎・大分)
世界的分布	
生息環境	沿海地に生育する自然林内の樹幹。
現 状	海岸林の伐採のために乾燥化が進み, 生息の存続が困難となった生息地がある。
備 考	殻高 8.2mm、殻径 2.4mm、の小型種

カンダベッコウマイマイ

学名 *Ovachlamys kandai* Azuma

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：情報不足 (DD) 水産庁：



[選定理由]

豊後水道域のわずかな島嶼に分布域をもつ。開発のために生息地が徐々に失われていて、個体数が大幅に減少している。

県内分布	津久見市, 鶴見町, 米水津村
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生息環境	林縁に捨てられた瓦の間や, がれ場。
現 状	山麓の崩落防止工事や道路の開設などにより, 生息地の一部が攪乱されている。
備 考	模式標本産地[鶴見町大島]

テラマチベッコウマイマイ

学名 *Bekkochlamys teramachii* Kuroda & Minato

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



【選定理由】

九州が分布域で、本県に広く分布するが希である。人為の加わらない自然度豊かな土地の減少に伴い、生息地が少なくなっている。

県内分布	耶馬溪町, 宇佐市, 安岐町, 別府市, 大分市, 佐伯市, 本匠村, 宇目町, 緒方町
分布域	九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	自然林内の礫の間や落ち葉の下。
現 状	自然林の減少や樹木の伐採による荒廃で、生息地が少なくなっている。
備 考	殻高 10.8mm、殻径 18.2mm、のやや大型種、螺塔は低い

キヌツヤベッコウ

学名 *Nipponochlamys semisericata* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：情報不足 (DD) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	緒方町、豊後大野市、佐伯市、本匠村、宇目町、蒲江町
分布域	関東地方以西の本州、四国、佐渡島
世界的分布	
生息環境	森林内の落葉下やガレ場に生息する
現 状	本匠村では新道の工事が進み森林も減少し生息個体も少なくなった
備 考	殻高 2.5mm 殻径 4.4mm 低い円錐形、殻色は濃い赤褐色、絹のような光沢がある

タカハシベッコウ

学名 *Nipponochlamys takahashii* Kuroda & Habe

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：情報不足 (DD) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	宇佐市、本耶馬溪町、日田市、緒方町
分布域	福岡県、熊本県
世界的分布	
生息環境	内陸の丘陵地で林内の落葉下で生息
現 状	本匠村では新道の工事が進み森林も減少し生息個体も少なくなった
備 考	殻高 2.2mm 殻径 3.7mm 螺塔の低い円錐形で殻色は淡栗色、半透明で光沢があり臍孔はやや広い

ヒラシタラガイ

学名 *Sitalina latissima* (Pilsbry)

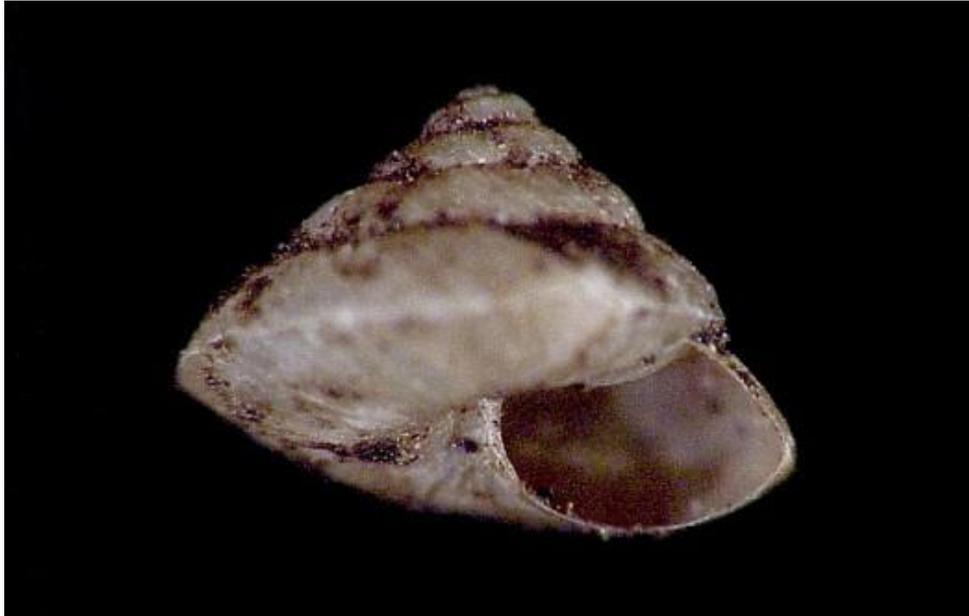
目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：地域個体群 (LP) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	佐賀関町(高島)、津久見市(保戸島)、鶴見町、米水津村(沖黒島)、蒲江町(屋形島・深島)
分布域	伊豆諸島、男女群島、鹿児島、沖縄、八重山諸島
世界的分布	
生息環境	潮風の当たる山林の落葉下で生息
現状	殆ど離島や沿海地で生息しており生息数が激減している。しかし、深島の調査では自然林の環境もよく生息個体が確認できた。
備考	殻高 2mm 殻径 2.8mm 螺塔の低い円錐形で光沢はなく殻表に成長肋が密にあり微細な螺脈が数条ある

オオウエキビ

学名 *Trochochlamys fraterna* (Pilsbry)

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：情報不足 (DD) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	前津江村、臼杵市、宇目町、
分布域	本州、四国、九州
世界的分布	
生息環境	低山地の落葉下で生息
現 状	石灰岩地帯の木浦鉦山では自然林の環境もよく生息個体が確認できた
備 考	殻高 2.5mm 殻径 2.4mm 丸みのある円錐形、殻色は淡黄褐色、体層に強い周縁角がある

オキノシマキビ

学名 *Trochochlamys okinoshimana* (Pilsbry & Hirase)

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 情報不足 (DD) 水産庁:



[選定理由]

県内分布	蒲江町
分布域	高知県(沖ノ島)
世界的分布	
生息環境	常緑林内落葉下で生息
現 状	米水津村の沖黒島ではイノシシが渡島しており林内の環境は荒廃している
備 考	殻高 4.5mm 殻径 4.8mm 螺塔は円錐形で体層に強い周縁角がある、殻色は淡黄褐色で臍孔は閉じる

トサキビ

学名 *Trochochlamys sororcula* (Pilsbry & Hirase)

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：情報不足 (DD) 水産庁：



[選定理由]

県内分布	本匠村、宇目町、(尾越鍾乳洞・祖母山・傾山)
分布域	徳島県、高知県
世界的分布	
生息環境	石灰岩の礫のある落葉下に生息
現 状	本匠村では新道の工事が進み森林も減少し生息個体も少なくなった
備 考	殻高 4.5mm 殻径 4.4mm 螺塔は円錐形で体層に鋭い周縁角がある、殻色は淡黄褐色で臍孔は開く

サドタカキビ

学名 *Trochochlamys xenica* (Pilsbry & Hirase)

目名

目名学名

科名 ベッコウマイマイ科

科名学名 Helicarionidae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 情報不足 (DD) 水産庁:



[選定理由]

県内分布	本匠村、津久見市
分布域	本州、佐渡島、岐阜県
世界的分布	
生息環境	丘陵地の林内落葉下に生息
現 状	本匠村では新道の工事が進み森林も減少し生息個体も少なくなった
備 考	殻高 3.1mm 殻径 2.3mm 螺塔の高い円錐形でタカキビよりも輪郭が膨れる、殻色は淡黄褐色で臍孔は閉じる

オオウスビロウドマイマイ

学名 *Nipponochloritis fragosus* Minato

目名

目名学名

科名 ナンバンマイマイ科

科名学名 Camaenidae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：II (VU) 水産庁：



[選定理由]

九州に分布域をもつが生息地は少なく、本県でも生息地は局限される。自然林の減少に伴い、個体数は減少傾向にある。

県内分布	耶馬溪町, 庄内町, 竹田市
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	
生息環境	山地の林内で、朽ち木や石の裏面などの暗湿な所。
現 状	樹木の伐採により環境が悪化して、生息の確認が困難になった生息地がある。
備 考	殻高13mm、殻径26mm、の大型種

シコクビロウドマイマイ

学名 *Nipponochloritis hiromitadae* Minato

目名

目名学名

科名 ナンバンマイマイ科

科名学名 *Camaenidae*

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU) 水産庁：



[選定理由]

四国を分布域として、九州では本県だけに分布する。生息地の近くに道路が開設されて環境が悪化し、絶滅の危機に瀕している。

県内分布	蒲江町、姫島、国見町、国東町、安岐町
分布域	四国, 九州(大分)
世界的分布	
生息環境	山間部の自然林内のがれ場。
現 状	林道の開設による樹木の伐採などで、生息地の一部が攪乱され環境が悪化している。
備 考	殻高 11mm、殻径 19.5mm、の中型種、トサビロードに統合予定

フカシマコベソマイマイ

学名 *Satsuma (Satsuma) myomphala fukashimana* Azuma

目名

目名学名

科名 ナンバンマイマイ科

科名学名 CAMAENIDAE

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

採集圧のせいで生息数が減っている

県内分布	蒲江町(深島・沖ノ島)
分布域	宮崎県(島野浦島)
世界的分布	
生息環境	潮風の当たる山林の落葉下で生息
現 状	深島の調査で自然林の環境もよく生息個体が確認できた
備 考	殻高 18.2mm 殻径 26.7mm 原名亜種よりやや小型、体層周縁の色帯もより広い

カンダマイマイ

学名 *Aegista (Coelorus) kandai* Azuma

目名

目名学名

科名 オナジマイマイ科

科名学名 Bradybaenidae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I (CR+EN) 水産庁：



【選定理由】

大分県南部が主な分布域である。生息地が集落の周辺にあるために、開発など人為による攪乱があり、環境が著しく悪化しつつある。

県内分布	野津町, 本匠村, 佐伯市, 米水津村, 蒲江町
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	山麓や林縁にあるがれ場の礫の間や落ち葉の下。
現状	整地や除草などの小さな人為により、多くの生息地が消滅している。
備考	模式標本産地[蒲江町葛原]

カタハガイ

学名 *Pseudodon omiensis* (Heimburg)

目名

目名学名

科名 イシガイ科

科名学名 Unionidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)

水産庁：



[選定理由]

広い池で調査が困難であり生息数の確認ができない

県内分布	中津市、耶馬溪町、宇佐市
分布域	本州三河以西から九州
世界的分布	
生息環境	水路や小河川の砂中
現 状	中津市御澄池では良い環境が保たれており生息個体が確認できた
備 考	殻長 61mm 後背縁が張り出す漣状彫刻は後背域で顕著となる。殻色は黒色

ニセマツカサガイ

学名 *Inversiunio reinianus yanagawensis* (Kondo)

目名

目名学名

科名 イシガイ科

科名学名 Unionidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

県内で一か所の生息地で水路も狭く水質により絶滅の危険が危惧される

県内分布	杵築市
分布域	岡山県、高知県、福岡県
世界的分布	
生息環境	水路や小河川の砂中
現 状	杵築市の水路では良い環境が保たれており多数の生息個体が確認できた
備 考	殻高 35mm 殻長 50mm 殻幅 20mm 前後で丸みがあり卵円形をしており后背縁の後端付近が湾入する

トンガリササノハガイ

学名 *Lanceolaria grayana* (Lea)

目名

目名学名

科名 イシガイ科

科名学名 Unionidae

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)

水産庁：



[選定理由]

以前の河川改修で法面のブロック化・川底の平面化は生息環境を無視している

県内分布	宇佐市
分布域	本州以南、四国、九州
世界的分布	
生息環境	水路や小河川の砂中
現 状	宇佐五十石川、除草作業の際大量の個体をゴミとし最悪の環境となった
備 考	殻長 102mm 殻高 30mm と細長く成長する、後背縁近くに殻頂から後端にかけて稜角が走る

マツカサガイ

学名 *Inversidens japonensis* (Lea)

目名

目名学名

科名 イシガイ科

科名学名 Unionidae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT) 水産庁：



【選定理由】

国内に分布域は広いが、本県には生息地が少ない。河川の改修や水質汚染など、環境の悪化により個体数が減少傾向にある。

県内分布	宇佐市、湯布院町
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	流れの緩やかな砂と礫の混じる浅い河床。
現状	河川の改修により生息地の河床が部分的に攪乱されて、個体数が減少している。
備考	殻長 47mm、殻表に山形の彫刻が出る